

学校だより

第23号

椎の木



令和5年3月 9日発行

流山市立東部中学校

生徒数 554名

卒業おめでとうございます

いよいよ3年生が卒業する日が来ました。3年生は、この3学期に入ってから卒業まで、高校入試や卒業ボランティア、3年生を送る会、卒業式練習・予行など、最後の最後まで後輩に最高学年としての姿を見せてくれました。立派でした。

これからそれぞれが決めた進路に向けて、新たな生活へと巣立っていく準備が整いました。

振り返ってみると、中学校に入学して次の日から休校という前代未聞の中学校生活のスタートでした。3年間、新型コロナウイルス感染症を気にせず、学習や活動をするという時間はなかったと言っても良い3年間だったと思います。予定していたことが予定通りいかず、計画したことが変更を余儀なくされ、思いもよらないことが次々と出現した日々だったと思います。もちろん1・2年生もその状況は変わらず、以前の感覚を忘れてしまいそうなきももあります。

それでも今年1年は多くの活動が平常時に近い形でできる状況でした。しかしそれは最高学年である3年生にとっては、「昨年通り」「先輩たちが残してくれた・・・」などという今までのものを今まで通りやるということができない分、大変だったと思います。最高学年として、今年度は目の前の様々な状況に、時には我慢し、時には計画を変更し、時には工夫しながら全校をリードしてくれたと思っています。

今までに経験のない新型コロナウイルス感染症との共生は、今のところかなり平常時に戻りつつあります。今年、3年生が東部中で様々な工夫しながら全校をリードしてくれたことが、東部中の新たな伝統として残っていくことと思います。1・2年生には、そんな3年生の姿は、どのように写ったのでしょうか。この1年間、3年生が進めてきてくれたものに、さらに新たな伝統を築いていってほしいと願っています。

明日、3年生は卒業式を迎えますが、残念ながら1年生はその姿を見ることができません。本来ならば、全校生徒で3年生の門出を祝ってあげたいと思いますが、それがかなわず残念でなりません。きっと3年生は担任の先生の呼名に「はい」という堂々とした返事で応え、堂々と卒業証書を受け取ると思います。1年生については、月曜日に担任の先生からその様子を聞いてもらいたいと思っています。

来週からは、2年生が全校のリーダーとして、東部中を名実ともにリードしていく立場になります。今年度のまとめをしっかりと行って、新入生を迎える準備を進め、新たな東部中を創っていく準備を進めてほしいと思います。

新型コロナウイルスに関する世の中の動きも変わってきます。1・2年生にも3年生が今年1年示してくれたように、状況に応じて工夫したり、新たな形を構築するなど、柔軟に活動を進めていってほしいと思います。

3年生には、心から感謝しつつ、在校生が力を合わせ頑張っていきましょう。

3年生を送る会

3月2日に生徒による卒業式＝3年生を送る会が開かれました。3学期に入り、1・2年生がそれぞれの発表を考え、計画づくりから練習まで日数が限られている中で最高の発表をしてくれました。昨年度は、1年生と2年生の入れ替え制による送る会でしたが、今年は全校が一堂に会し、全校生徒で実施することができました。

当日は、それぞれの学年がしっかり考えて練習してきた成果が出ていたと思います。1年生は、昨年の春に比べて合唱の声が変わってきました。中学生らしい少し大人っぽい歌声が響いてくるようになりました。2年生はすっかり大人の声になってきました。そして、3年生は、「さすが」という感じでした。受検等もあり練習もままならない状況だったと思いますが、見事な発表でした。

3年生を送る会の様子は、現在、Y o u T u b eに限定公開していますので、家でも視聴していただけると幸いです。



善行賞・清掃マイスター賞決

<善行賞>

1年生 レボタ サリン ケボさん
2年生 大沼 奏さん
3年生 川畑 建大君

石田 麗夏さん
木村茉里亜さん
中山 碧 君

<清掃マイスター>

1年生 姜 智涵さん
2年生 土肥香菜子さん
3年生 本田 健大君

小宮虎汰朗君
中島 彩恵さん
大関 俊逸君

この2つの賞は生徒会が全校生徒の投票によって、素晴らしい行いや清掃を頑張っている仲間を投票によって決めたものです。

日常活動の頑張りに拍手をおくりたいと思います。